平成19年度国際協力重点方針・地域別重点課題

外務省国際協力局

「平成19年度国際協力重点方針・地域別重点課題」

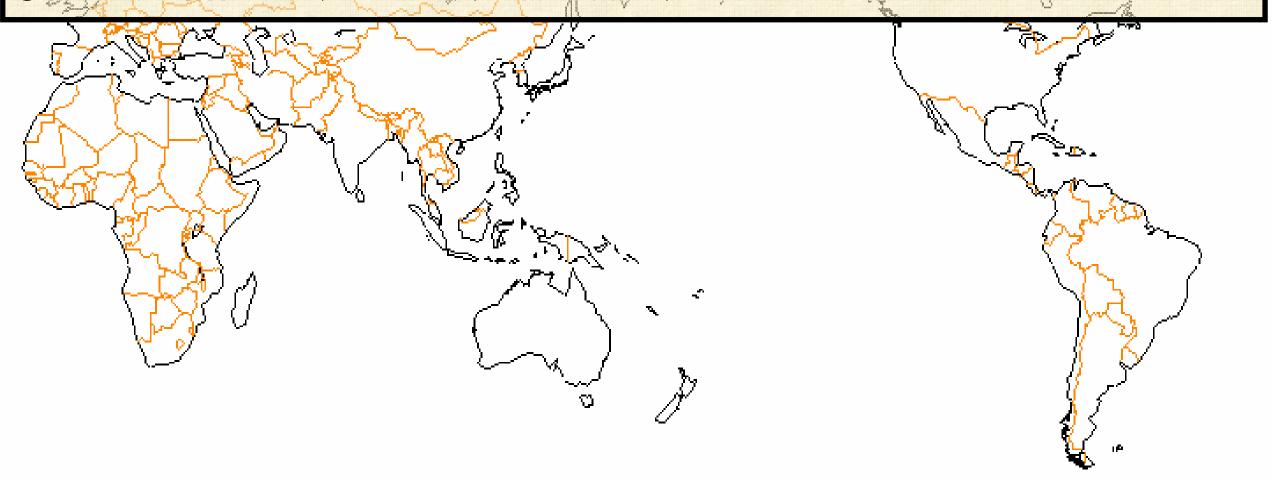
- 1. 国際協力の理念を示したODA大綱・ODA中期政策(5年~10年程度)と各国毎の援助指針である国別援助計画(5年)を踏まえつつ具体的な方針を示していく。
- 2. 外交政策を踏まえた国際協力を推進するため、各地域毎の外交政策の方向性を掲げ、今後の外交日程も考慮しつつ国際協力の優先政策課題及び各地域別の重点課題・重点国を毎年設定する。
- 3. 現地ODAタスクフォース、及び経済協力実施機関(JICA、JBIC)に対し、毎年の方向性と重点課題を示し、政策と実施の一貫性を強化する。

今年度の国際協力の重点事項(優先課題)

【来年の焦点】

TICADIV、北海道洞爺湖サミットにおいてリーダーシップを発揮(特に、気候変動、アフリカが重要課題) 【重点事項】

- ① 環境・気候変動への取組(「美しい星50」に基づく次期枠組み作りへの経済協力の活用)
- ② 途上国の経済成長と我が国の経済的繁栄の実現(貿易・投資環境整備、経済連携推進、資源・エネルギー確保)
- ③ 普遍的価値を重視し、外交の地平を拡大する中、民主化定着・市場経済化を支援(法制度整備支援、人づくり支援、人権重視など)
- 4 平和の構築・テロとの闘い
- ⑤ 人間の安全保障の確立 (ミレニアム開発目標への貢献等)



アジア大洋州

対アジア大洋州外交政策目標

- ▶ 基本的価値の共有に基づく域内協力・統合の深化、相互理解の推進と安定の確保(東アジア 共同体)
 - ✓ 民主化定着·人権保護支援、法制度整備支援
 - ✓ 機能的協力の推進(金融、エネルギー、防災等)
 - ✓ 地域協力の推進(アジア開発銀行との連携強化)
 - ✓ 大規模な青少年交流の推進 (「東アジア青少年大交流計画」など)、日本語・日本型教育、 知日層育成
 - ✓ 域内格差是正
- ➤ 平和構築(アチェ、東ティモール、スリランカ、ネパール、ミンダナオ)
- ➤ 国境を越える非伝統的な脅威(テロ・海賊、自然災害、環境・気候変動、感染症等)への対応
- ➤ 我が国と相手国の双方の経済的繁栄の確保 (アジアは我が国の経済成長の基盤)
- ✓ インフラ整備、制度づくりなどの経済成長の基盤づくり
- ✓ EPA、資源確保、シーレーンの安全確保
- ➤ 新興ドナーとの対話・協力の推進 (ASEAN内協力、アジア・アフリカ協力支援など)
- ➤ 国際場裏での支持基盤の確保 (伝統的親日国との関係の維持・強化)



2007年以降の主な外交日程

- APEC(豪)、ASEAN+3、東アジア首脳会議(シンガポール)
- □ 往: ARF、日ASEAN外相会合、総理インドネシア、印、マレーシア訪問等
- □ 来:スリランカ大統領
- □ 周年:日印交流年・観光年、日中文化・スポーツ交流年(日中正常化35周年) 日インドネシア国交関係樹立50周年(2008年)、日ベトナム外交関係 樹立35周年(2008年)モルディブ、マレーシア、タイ等

インド(重点国)

- ~基本的価値を共有する「戦略的グローバル・パートナーシップ」に基づき 幅広い分野で協力 → 日本の知見の伝播、EPA、人物交流
- ➤ 日印経済関係強化に資するインフラ整備を通じた経済成長の促進
- > 環境·気候変動·エネルギー問題に関する協力
- > 貧困削減及び社会セクター開発

インドネシア(重点国)

- ~ASEAN最大の国。穏健イスラムの大国。マラッカ海峡。資源
- ⇒ 地域安定の要。戦略的パートナーとして、政治・経済面の関係緊密化
- ▶ 投資環境整備、資源確保、エネルギー協力(エネルキーアクセス、代替エネルキー等)
- > 防災、テロ・海賊対策(マラッカ海峡)、鳥インフルエンザ対策

メコン地域(重点地域)

- ~日本とメコン地域のパートナーシップの更なる強化
- ➤ 地域経済の統合と連携の促進
- ✓ 社会経済基盤整備・制度構築、地域ネットワーク構築強化等
- > 日本とメコン地域との貿易・投資の拡大
- ✓ EPAなどの法的枠組み整備、貿易・投資環境整備、産業協力等
- ➤ 基本的価値の共有と地域共通の課題への取組
- □ CLVへのODAを拡充

太平洋島嶼国

- ⇒ 政治的安定と自立的経済発展の確保(社会・経済面の脆弱性克服、地域協力) ✓ ガバナンス、防災、気候変動への対応等
- □ 3年間で450億円規模の支援の実施等、島サミットのフォローアップ ①経済成長、②持続可能な開発、③良い統治、④安全確保、⑤人と人との交流

【アジア】〈平成13-17年度平均〉 〈平成18年度〉

→総額 6394億円 7400億円 >右僧 5044億円 6440億円 >無償 757億円 479億円 ▶技協 593億円 481億円

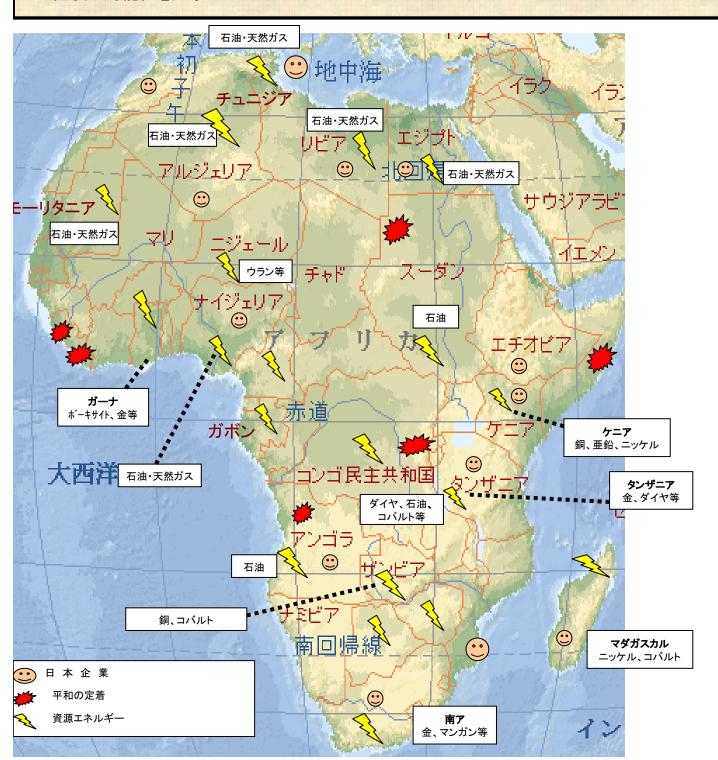
【大洋州】〈平成13-17年度平均〉 〈平成18年度〉

→総額 106億円 102億円

アフリカ

対アフリカ外交政策目標

- ▶ アフリカに集中する国際社会全体の課題の解決に国際社会の責任ある一員として応分の貢献
- ➤ 国連加盟国3割を占めるアフリカ諸国との関係強化を通じて我が国の外交基盤を強化



2007年以降の主な外交日程

- □ TICADIV(2008年5月)・G8洞爺湖サミット(2008年7月)成功に向けた取組
- □ その他: AU総会(7月:ガーナ、2008年1月: エチオピア、2008年7月: アンゴラ)

TICADIVに向けて

> 成長の加速化

現在好調であるアフリカの経済成長を持続的でかつ貧困者をも幅広く 神益するものとするための支援を強化

(貿易投資、インフラ整備、農業の各分野を含む)

- > 「人間の安全保障」の確立
- ✓ MDGs達成支援
- ✓ 平和の定着、民主化支援強化等
- → 環境・気候変動問題への対処 アフリカは気候変動に最も脆弱な大陸:環境、特に気候変動への適応 問題への取組を支援し、成長への障害を除去
- ⇒国際社会の知恵と資金を結集

※留意点

- ➤ アジア・アフリカ協力の推進(アジアの経験をアフリカへ)
- ★ 援助協調への対応(パリ宣言等)

ODA供与実績(北アフリカ分は含まず)

〈平成13-17年度平均〉 〈平成18年度〉

 ▶総額
 741億円
 1247億円

 ▶有償
 23億円
 394億円

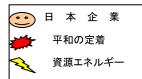
 ▶無償
 501億円
 600億円

 ▶技協
 217億円
 253億円

中央アジア・コーカサス・欧州

対中央アジア、コーカサス、欧州(中・東欧)外交政策目標

- → 日本外交の新たなフロンティア(自由、基本的人権、法の支配等基本的価値を重視する外交の推進、外交の地平の拡大)
 - ⇒民主主義・市場経済に基づく経済発展を支援
- ≫ 資源・エネルギーの確保/エネルギー安全保障(中央アジア、コーカサス、パイプライン経由国)
- > 「中央アジア+日本」等域内協力の強化





2007年以降の主な外交日程

- □「中央アジア+日本」対話第3回外相会合開催
- □ コソボ地位問題を巡る国際社会の動き

中央アジア

- ➤ インフラ整備
- ✓ 中央アジア・アフガン・南アジアを結ぶ南北ルート整備(輸送)
- ➤ 資源・エネルギー確保
- ⇒ ガバナンス改善・法の支配、市場経済化支援(貿易・投資環境整備)に 日本の知見を活用
- > 地域協力推進 (「中央アジア+日本」対話「行動計画」の実施)
- ✓ 輸送、エネルギー・水、貿易投資、テロ・麻薬対策など
- ✓ 米、EU、国際機関、CAREC等との連携の模索

GUAM、コーカサス

- ➤ 民主化·市場経済化支援(法制度整備支援、人材育成等)
- > インフラ整備支援(アゼルバイジャン等)
- > 欧州諸国との援助協調・三角協力 (欧州の新興ドナーを含む)

西バルカン

(コンボ(地域)、セルビア、ボスニア・ヘルツェゴビナ)

- 政治的バランスに配慮した国づくり(平和の定着、民主化・ 市場経済化)を支援
- ➤ インフラ整備 (運輸インフラ等)
- ➤ 欧州諸国との援助協調・三角協力(欧州の新興ドナーを含む)

※留意点

- >中·東欧のODA「卒業」国への対応(日本語教育等)
- >貧困国(モルドバ等)への効果的援助

ODA供与実績

「欧州」

〈平成13-17年度平均〉 〈平成18年度〉

➤総額216億円66億円➤有償141億円0億円➤無償41億円37億円➤技協34億円29億円

「中央アジア・コーカサス」

〈平成13-17年度平均〉 〈平成18年度〉

>総額	302億円	67億円
>有償	216億円	O億円
>無償	52億円	37億円
>技協	34億円	30億円

中東

对中東外交政策目標

- ➤ エネルギー安全保障(湾岸諸国との関係強化等)
- ➤ 中東地域の安定と発展に向けた取組
 - ⇒ 中東和平の推進、イラク、アフガニスタンの復興を重視
- ➤ 石油に留まらない関係の構築(重層的経済関係、教育、人材育成等)

日本企業

重点国

平和の定着

資源エネルギー



2007年以降の主な外交日程

□ 日アラブ会議

中東和平プロセス支援(重点項目)

- ➤ 四者協議を通じた「平和と繁栄の回廊」構想の具体化
- ➤ パレスチナ支援の強化(国際機関との連携)

イラク(重点国)

- ➤ イラク新政府の主体的な復興努力を支援し、我が国の国益 (石油等)に資する日イラク関係の発展を目指す。 (イラク・コンパクト支援、行政能力向上支援等)
- ⇒ サマーワに引き続き配慮しつつ、国民和解の観点から地域 バランスに一層配慮
- ★ 無償資金による当面の支援から、円借款中心の支援に移行

アフガニスタン(重点国)

- ▶ アフガニスタン政府が安定し、適正に機能するための後押し
 - ✓ 治安能力の強化(DIAG遂行のための関係省庁改革)
 - ✓ 行政能力向上支援等
 - ✔ 農業・農村開発を中心とした地方総合開発
- ⇒ 治安状況に留意した支援の工夫 (NATO・PRTと連携した草の根無償の実施等)
- ✓ 中央アジア地域等を含めた広域協力の模索
- □ ロンドン会議で表明したコミットメントの実施(残り2.5億ドル)

※留意点

- > 湾岸諸国
- ✓ ODA「卒業」への対応(OOF、人づくり支援など) 【サウジアラビアは2008年からODA卒業国に】
- ➤ エジプト
- ✓エジプト・日本科学大学(E-JUST)構想の検討
- ▶ 地域の安定の鍵となる国(レバノン、シリア、ヨルダン 等)への支援

ODA供与実績(北アフリカ分を含む)

〈平成13-17年度平均〉 〈平成18年度〉

→総額 1081億円 1928億円 >有償 550億円 1542億円 >無償 401億円 265億円

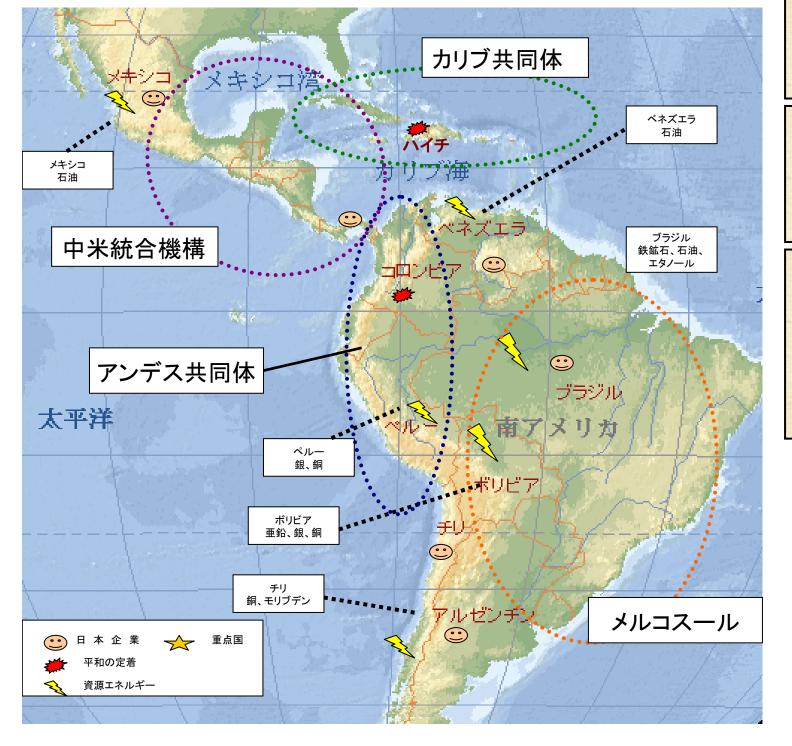
(補正1254億円(合計)) (+補正111億円)

121億円 ≻技協 130億円

中南米

対中南米外交政策目標

- > 豊富な資源を有し、高い経済的潜在力を持つ中南米との経済関係活性化
- ⇒ 貧困・貧富の格差問題に適切な社会開発政策を通じて取り組む諸国の改革努力を後押し
- ➤ 国際社会の共通課題への共同対処(環境・気候変動問題、平和構築など)



2007年以降の主な外交日程

周年行事: 日伯交流年(2008年)

中米 ⇒ 地域統合の動きが進展

▶ 域内の共通課題である民主主義を脅かす貧富の格差の改善 支援

(均等な医療、教育機会の確保による貧困層の経済的底上げ)

- ✓ 算数教育の推進、小中学校校舎の充実
- ✓ シャーガス病(貧者の感染症)の早期根絶への支援
- ➤ 広域的なインフラ統合支援
- > 環境・気候変動分野への取組
- ➤ 地域最大の大国であるメキシコとの協力に留意(日・メキシコパートナーシッププログラム(JMPP)の推進)

カリブ諸国

- ➤ 草の根無償、水産無償などを機動的かつきめ細かに実施
- ⇒ 環境・気候変動分野での取組支援(適応策の必要性を考慮)
- ➤ ハイチの平和構築分野等への支援を重視 (最貧国、PKO展開中)

南米

- ➢ 経済関係強化に繋がる協力 (資源・エネルギー分野のインフラ整備、人材育成、社会開発 支援等)
- ➤ 環境・気候変動問題への取組 (CDM能力構築、アマゾンの森林保全など)

※留意点

現地で高く評価されている、草の根無償の積極的活用により、 機動的かつきめの細かい支援を実施

ODA供与実績

〈平成13-17年度平均〉		〈平成18年度〉	
>総額	631億円	458億円	
>有償	187億円	60億円	
>無償	194億円	194億円	
>技協	250億円	204億円	

ODA供与実績

(単位:億円)

		1110 17左帝亚华	ᄖᄼᄼᇠ
		H13-17年度平均	H18年度
世界	総額	9,470.62	11,268.07
	有償	6,160.02	8,435.20
	無償	2,006.19	1,664.36
	技協	1,304.02	1,168.53
アジア	総額	6,394.44	7,399.96
	(対世界比)	(67.5%)	(65.7%)
	有償	5,044.31	6,440.23
	(対世界比)	(81.9%)	(76.3%)
	無償	757.30	478.73
	(対世界比)	(37.7%)	(28.8%)
	技協	592.83	481.00
	(対世界比)	(45.4%)	(41.2%)
大洋州	総額	105.79	102.35
	(対世界比)	(1.1%)	(0.9%)
	有償	0.00	0.00
	(対世界比)	(0.0%)	(0.0%)
	無償	60.05	53.19
	(対世界比)	(3.0%)	(3.2%)
	技協	45.74	49.16
	(対世界比)	(3.5%)	(4.2%)
中央アジア	総額	301.56	67.19
	(対世界比)	(3.2%)	(0.6%)
	有償	215.75	0.00
	(対世界比)	(3.5%)	(0.0%)
	無償	51.95	37.04
	(対世界比)	(2.6%)	(2.2%)
	技協	33.86	30.15
	(対世界比)	(2.6%)	(2.6%)

^{*} 補正予算:内訳(H15年度のイラク向け補正1,188億円及びH16年度のパレスチナ向け補正66億円の合計)

			. ,
		H13-17年度平均	H18年度
中東	総額	1,080.75	1,928.29
	(対世界比)	(11.4%)	(17.1%)
	有償	549.46	1,541.75
	(対世界比)	(8.9%)	(18.3%)
	無償	401.01	265.33
	(対世界比)	(20.0%)	(15.9%)
	補正	* 1,254(合計)	** 111
	技協	130.28	121.21
	(対世界比)	(10.0%)	(10.4%)
	総額	741.16	1,246.67
	(対世界比)	(7.8%)	(11.1%)
<i>)</i> *	有償	23.03	393.50
アリリ	(対世界比)	(0.4%)	(4.7%)
IJ	無償	500.73	599.96
カ	(対世界比)	(25.0%)	(36.0%)
	技協	217.40	253.21
	(対世界比)	(16.7%)	(21.7%)
	総額	630.98	457.90
	(対世界比)	(6.7%)	(4.1%)
中	有償	186.63	59.72
南	(対世界比)	(3.0%)	(0.7%)
米	無償	194.20	193.63
	(対世界比)	(9.7%)	(11.6%)
	技協	250.15	204.55
	(対世界比)	(19.2%)	(17.5%)
欧 州	総額	215.94	65.71
	(対世界比)	(2.3%)	(0.6%)
	有償	140.84	0.00
	(対世界比)	(2.3%)	(0.0%)
	無償	40.95	36.48
	(対世界比)	(2.0%)	(2.2%)
	技協	34.15	29.23
	(対世界比)	(2.6%)	(2.5%)

^{**} H18年度補正予算:内訳(イラク復興無償援助111億円)